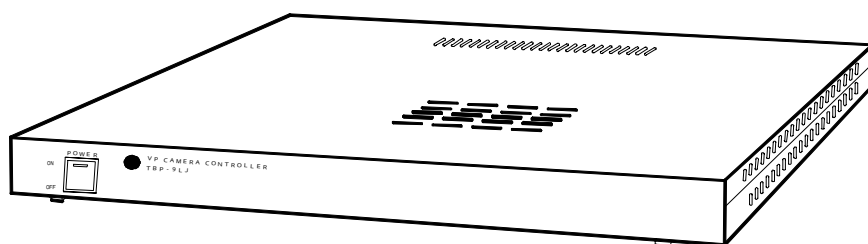


# VP CAMERA CONTROLLER

# TBP-9LJ

## 取扱説明書



### 目次

1:安全上のご注意	P1 ~ 2
2:製品の概要	P3
3:各部の名称と機能	P4 ~ 5
4:接続方法	P6
5:仕様	P7

## 1: 安全上のご注意

この度は、弊社製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。本製品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。また、取扱説明書は必要に応じて、いつでもお読みいただくことができるように、大切に保管して下さい。

本取扱説明書では、誤った取扱をした場合に生じる事が想定される危険の度合いを、以下の通り、『警告』、『注意』として区分、説明しています。これらの『警告』『注意』事項は必ず守ってください。



### 警告

下記の警告を守らず、誤った取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**専用のカメラ以外には使用しないでください。**

誤動作や事故が直接人体や生命を脅かす恐れのある制御装置(医療機器・航空宇宙機器・列車・原子力機器等)には使用しないで下さい。本電源は、カメラ専用に製作されています。

**使用条件は、この取扱説明書の記載内容を必ず守ってください。**

使用電圧、接続カメラ・機器、接続方法等、通電する前に、この取扱説明書の内容を十分ご理解の上、お使いください。とりわけ指定外の電源電圧を越えた電圧では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

**お客様での修理や改造はおやめください。**

修理や改造は感電・漏電・火災等、重大な事故の原因となりますので、絶対におやめください。

**通電中に直接人体が触れるような取付、及び作業はしないでください。**

通電中及び停止直後は、高温・高電圧になっている部分があり、火傷や感電の危険がありますので触れないでください。

**接続された配線をショートさせないでください。**

火災・故障等の原因となります。

**接続・配線するときは、ACコードを抜いてから作業を行ってください。**

配線間違いのないよう十分に確認してください。感電・故障の原因となります。

**内部に異物を入れたり、水でぬらしたりしないでください。**

本機の内部に金属類や燃えやすいもの等、又水等液体をいれないでください。火災・感電の原因となります。



## 注意

下記の注意を守らず、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性や、物的損害発生の可能性が想定される内容を示しています。

### **電源や電源内部にふれないでください。**

直接さわるのはもちろん、ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。

感電の原因や、故障の原因となります。

### **使用温度を必ず守ってください。**

使用周囲温度は、電源周囲の温度です。温度が高い場合は、内部温度が上昇し、故障の原因となります。したがって、放熱用の穴加工部は塞がないようにしてください。

### **使用中に故障または異常が発生したときは、ただちに電源を遮断してください。**

いかなる場合も電源プラグを抜いて電源を遮断し、販売店あるいは弊社までご連絡ください。

### **振動・衝撃のある場所での使用や保管はしないでください。**

落下したりして、故障の原因となります。

### **次の場所での設置、ご使用はさけてください。**

直射日光の当たる場所、暖房機器等の近く、及び高温になる場所。

湿気やほこりの多い場所。

鉄粉、油、薬品、硫化水素等のかかる恐れのある場所。

地下室、温室等の温度が高く、風通しの悪い場所。

冷蔵庫内、クーラーの吹き出し口の正面等、温度の低い場所。

### **長期間使用しないとき、電源プラグを抜いてください。**

長期間使用しないとき、あるいはお手入れのとき、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 2：製品の概要

本機は、専用カメラ1台に対し、同軸ケーブル1本で、映像信号・電源を重畳伝送するコントローラです。弊社別売の専用カメラを最大9台まで接続できます。

又、映像信号の補償スイッチにより、5C - 2Vで最大約500mまで使用できます。

**専用CCDカメラ9台が接続できます。**

弊社別売の白黒/カラ - CCDカメラを最大9台接続できます。

**ケーブル補償スイッチ装備で長距離伝送が可能です。**

ケーブル補償スイッチをONする事により、映像信号の減衰を補正し、5C - 2Vで、最大約500mまで伝送が可能となります。(7ページの表を参照)

**各カメラに対応する映像が個別に取り出せます。**

## 使用上のご注意 . . . . .

本機は、弊社販売VP(ワンケーブル)カメラ専用のコントローラですので、これ以外のカメラは接続できません。

接続すると、機器が破損しますので、絶対に接続しないでください。

本機の設置を、風通しの悪い場所、あるいは壁面から10cm以内に接近した場所に行くと、内部温度の上昇により、正常に作動せず、故障の原因となります。

又、発熱のある機器が周辺にある場合も、同様な不具合が発生する可能性があります。

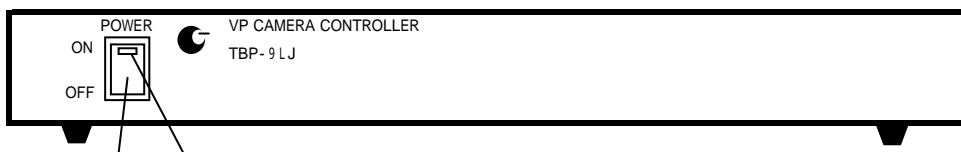
又、本機の放熱用の通風孔は、絶対にふさがらないでください。同様に不具合の発生の原因となります。

電源プラグは、設置と配線の検査後、間違いが無いことを確認されてから接続してください。

清掃は、乾いたやわらかい布でふいてください。ベンジン・シンナー等は使用しないでください。変形・変色の原因となります。

### 3: 各部の名称と機能

#### 前面



#### 電源スイッチ

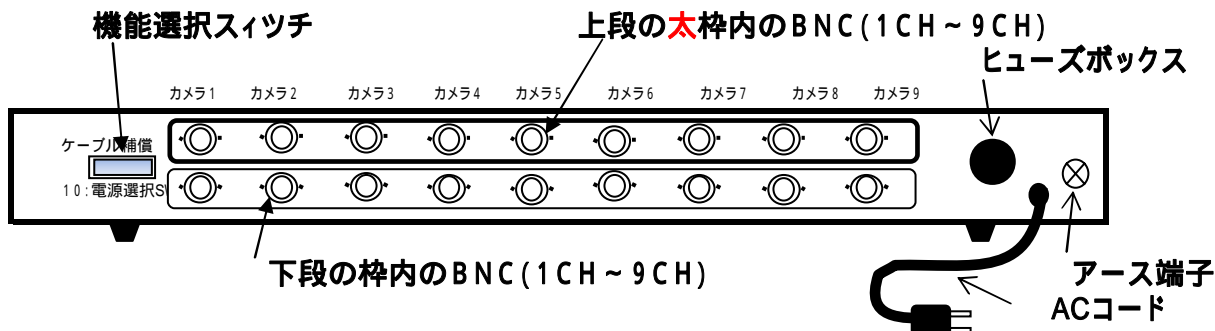
“ON”(スイッチの左側に表示)側に押すと、電源が入り、 の緑色のランプ(LED)が点灯します。

“OFF”(スイッチの左側に表示)側に押すと、電源が切れ、 の緑色のランプ(LED)が消灯します。

#### 電源ランプ(緑色)

電源が入ると点灯、切れると消灯します。

#### 後面



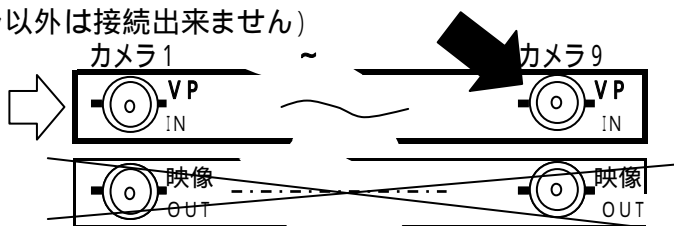
#### カメラ接続端子(9ヶ)

カメラからの同軸ケーブルを接続するBNC端子です。

(弊社販売のVPカメラ以外は接続出来ません)

**(注)BNC端子に  
常時直流電圧が出力!**

上段太枠内のBNC端子  
VP,INと表示



#### 注意

本機の電源を投入されますと、このBNC端子には、常時直流電圧が印加されていますので、間違っても他の機器を接続されますと、その機器の故障や破損となりますので、絶対に接続しないように注意してください。



#### 注意

#### VP-IN端子へのカメラ接続時の注意!

VP-INのBNC端子には、常時カメラ起動用の直流電圧が印加していますが、カメラからのケーブルを接続する際には、必ず本機の電源をOFFにしてからVP型カメラの同軸ケーブルを接続してください。

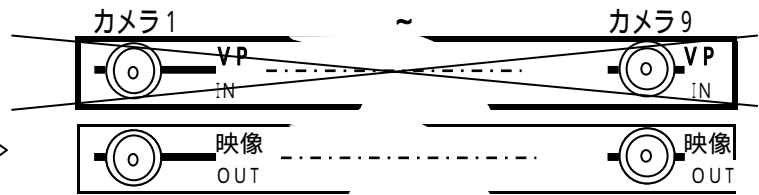
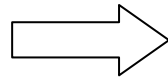
通電時に直接カメラケーブルを接続すると、出力短絡と判断し、過電流保護回路が作動して出力を切断します。この場合、本機の電源をOFFにし、電源を再投入してください。

### 映像出力端子(9ヶ)

カメラ映像の出力用、BNC端子です。直上段のカメラ入力映像が出力されます。

### 下段枠内のBNC端子

映像  
OUT と表示



### 機能選択スイッチ

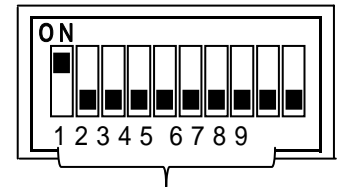
### 機能選択スイッチ拡大図

#### ( - 1) ケーブル補償スイッチ(1~9番)

ケーブル長が、3C - 2Vで約100m、5C - 2Vで約150m以上の場合、各符合する番号のスイッチを“ON”側(上側)に上げてください。映像信号の減衰を補正します。それ以外は下側(機能はOFF)でご使用ください。

数字の1~9が、本機の各カメラチャンネルと符合します。右図は1CHがケーブル補償の“ON”(作動)の例を示しています。

#### ケーブル補償(1~9CH)

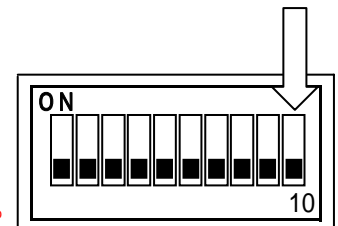


#### ( - 2) 電源選択スイッチ(10番) 通常 = 下側(OFF)

消費電流の多いカメラ機種で、電源投入が出来ない場合のみ10番のスイッチを“ON”側(上側)に上げてください。

それ以外は、必ず“下側”(機能OFFとなります)でご使用下さい。

ON時: 1~4chと5~9chのブロック別に、2回に分けて起動します。



10CH = 電源選択SW

### ヒューズボックス

ガラス管ヒューズ、125V・3Aが入っています。

( 6.4x30、溶断特性B)

交換時は電源スイッチを切り、ACプラグをコンセントから抜いて交換作業をしてください。ホルダー部中心のプラスネジ穴を反時計方向へ廻すと、ヒューズも一緒に取り出せます。

### ACコード

電源コンセントに差して使用します。

### アース端子

対地アースへの接続用端子ですが、特に接続しなくても使用上問題は有りません。

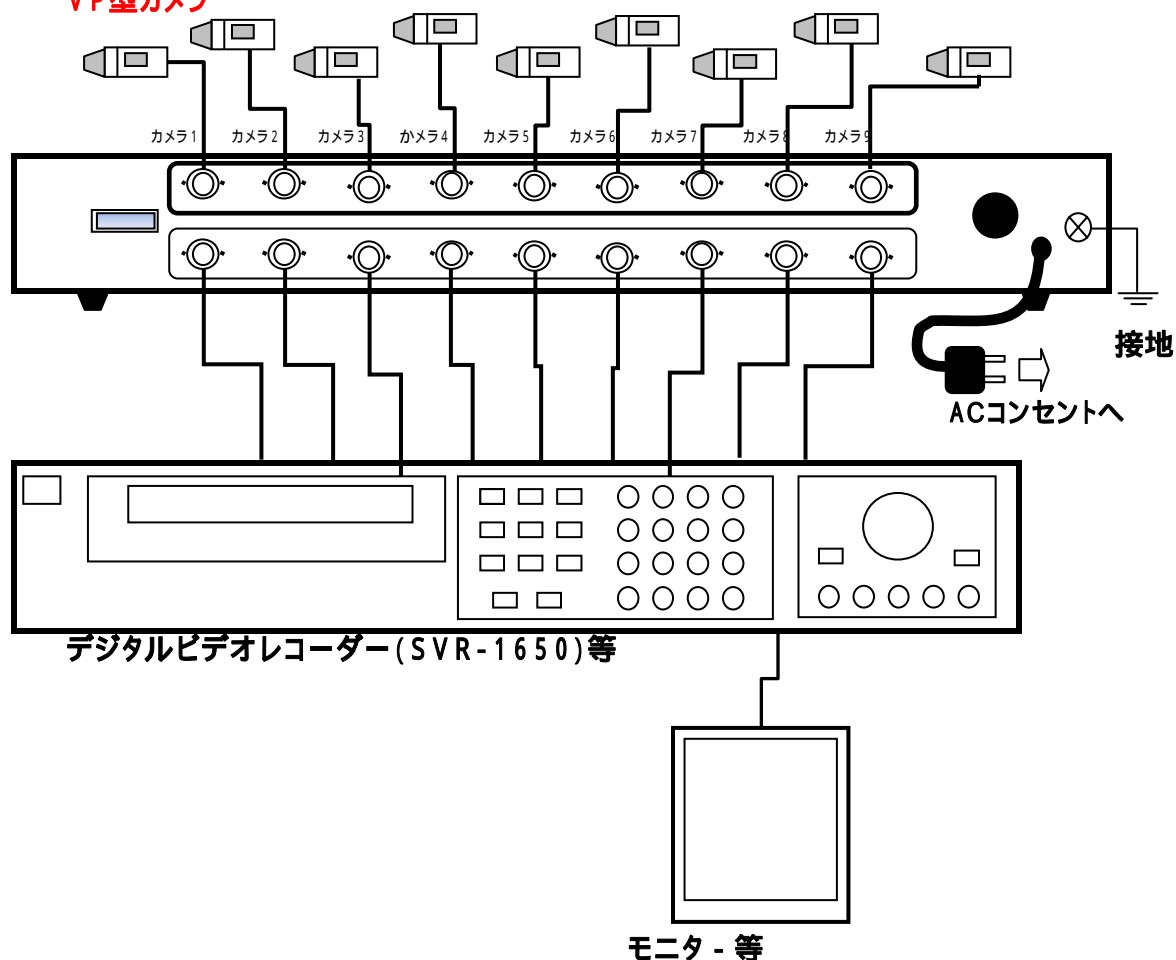
外部ノイズなどの影響を受ける際に、この端子で対地アースを取ると効果が得られる場合が有ります。

## 4: 接続方法

一般的接続の例

カメラは SHC - 730VP, SDC - 415VP  
SID - 40VP等カタログをご参照下さい。

VP型カメラ



システムについては、営業部あるいは担当営業部員にご相談ください。  
お客様の目的に沿って、最適のご提案をさせていただきます。

### 注意！

本機は、過電流が流れた場合には、電源供給を停止する安全設計になっています。  
電源供給が停止した場合は、その原因に対し確実な対策を取ってください。対策実施後  
電源スイッチをONにして、再度電源を入れてください。リセットされ電源の供給を再開し  
ます。短絡させた場合にもこの機能は働きますが、配線等間違いの無い事を十分検査し  
確認の後、電源を投入し、この安全機能が働く事の無いようご注意ください。

## 5:仕様

(特許申請中)

電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	約90W MAX(カメラ含む)	
カメラ電源供給方式	定電圧重畳伝送方式	
カメラ入力	1.0Vp-p/75 9系統 BNC接栓×9	
カメラ映像出力	1.0Vp-p/75 9系統 BNC接栓×9	
接続 ケーブル	3C-2V	最大約300m (100m以上は、ケーブル補償スイッチはON側) 注1)
	5C-2V	最大約500m (150m以上は、ケーブル補償スイッチはON側) 注1)
使用温度範囲	-10~+50	
使用湿度範囲	90%RH以下(ただし結露なきこと)	
寸法	430(W)×44(H)×347(D) mm (ゴム足高さ10mm含まず)	
重量	約4.1Kg	
付属品	取扱説明書 1部	
	予備ヒューズ (125V 3A) 1本	
別売	ラック取付用L型金具(ハンドル、ネジ含む)(右左用に2セット)	

(本機の仕様及び概観は、改良のため予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。)

注1)使用可能なケーブル長は、カメラの消費電流により異なります。下表を参照ください。

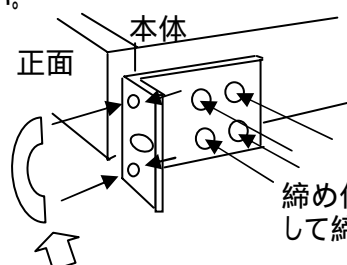
カメラ型式名	3C-2V使用時	補償スイッチ	5C-2V使用時	補償スイッチ
SDC-415VP	最大 300 m	100m 以上で ON	最大 500 m	150m 以上で ON
SID-40VP	最大 300 m		最大 500 m	
SHC-730VP	最大 150 m		最大 300 m	
SHC-721VP	最大 150 m		最大 300 m	

又ケーブル補償スイッチは、上記 補償スイッチ欄 の長さ以上の場合、ONして下さい。  
映像信号の減衰を補正します。(5ページ参照)

### 別売のラック用L型金具使用時の注意!

別売のラック取付用L型金を使用する場合は、現状締め付けてある、4mmビスにより、左右各4本、外れないようしっかり締めつけてください。付属のハンドルも付属の専用ビスで外れないよう、しっかり締めつけてください。

締め付けが不十分な場合、落下等故障・破損の原因となりますので、ネジの締めつけを、十分確認してください。



本体とL型金具は、現在本体に  
締め付けてある専用4mmビス×4本を使用  
して締めつけてください(左右同じ)

ハンドルは付属の専用ビス(2.5mm)で取り付け締めつけてください

# 保証書


この保証書は本書に明示した期間、保証規定にもとづき無償修理を行うことをお約束するものです。  
ご購入日から下記保証期間中に取扱説明書、注意ラベル等の注意書に従った使用状態で故障が発生した場合は、  
無償修理となりますので、本書をご提示のうえ、お買上の販売店にご依頼ください。

機器名	TBP-9LJ
機器明細	
保証期間	お買い上げより1年間
ご購入日	年 月 日
お客様	ご芳名 ご住所 〒

販売店名・住所・電話
------------

## ( 無料修理規定 )

- 取扱説明書、注意ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は無料にて修理致します。  
ただし、離島及びこれに準ずる遠隔地の修理は、配送に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
  - 本書のご提示がない場合
  - 本書にご購入年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、および本書の字句を書き換えられた場合
  - ご購入後の取付場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷
  - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧による故障および損傷
  - 使用上の誤り、他の接続機器に起因する障害または不当な改造による故障および損傷
  - 配管工事、設置工事などの不備による故障および損傷
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

 <b>安全に関する ご注意</b>	正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」と「ご使用上の注意」をよくお読みください。 水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などの原因となることがあります。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------



本 社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-29-11  
八重洲第五長岡ビル6F  
TEL. 03-3555-7302 FAX. 03-3555-7147

Website [www.tbeye.com](http://www.tbeye.com)

仕様及び外観は、改良のため予告なく変更されることがあります

